



青木村議会だより

Vol. 98

令和7年8月1日発行



CONTENTS

令和7年第1回臨時議会…2
令和7年第2回定例会…2～4
常任委員会報告…5
一般質問…6～12
議会の動き…13
議会日誌・住民の声…14

✉ gikai@vill.aoki.nagano.jp

🌐 <http://www.vill.aoki.nagano.jp/gikai03.html>



令和7年第1回臨時議会

新しい議会運営体制が決まりました

5月7日に開催された令和7年臨時議会において、新しい議会運営体制が決定しました。詳細は左記のとおりです。

【議会の新しい組織構成】

◆議長 平林 幸一

◆副議長 塩澤 敏樹

◆監査委員 金井 とも子

◆議会運営委員会委員（5人）

- 坂井 弘
- 松本 淳英
- 北澤 久美子
- 宮澤 政美知
- 塩澤 敏樹

◆各種委員など（議会選出）

青木村上田市共有財産組合議員（4人）

- 坂井 弘
- 小林 久美子
- 松澤 広海
- 塩澤 敏樹

上田広域連合議会（2人）

- 平林 幸一
- 塩澤 敏樹

議会報編集委員（6人）

- 塩澤 敏樹
- 松本 淳英
- 小林 久美子
- 松澤 広海
- 北澤 久美子
- 宮入 典子

◆常任委員会委員

総務建設産業委員会（5人）

- 松本 淳英
- 宮澤 政美知
- 小林 久美子
- 松澤 広海
- 平林 幸一

社会文教委員会（5人）

- 金井 とも子
- 坂井 弘
- 北澤 久美子
- 宮入 典子
- 塩澤 敏樹

○委員長
○副委員長

令和7年

第2回定例会

令和7年第2回定例会は、去る6月5日に招集され、13日までの会期で行われました。提出された案件は報告事項4件、補正予算2件、陳情2件、議員発議1件で、報告事項・議案は原案のとおり可決、承認され、陳情第1号は採択、第2号は一部趣旨採択、議員発議は可決となりました。一般質問では、7人の議員から村政に対する意見や質問がなされました。

村長あいさつ（要旨）

アメリカのトランプ大統領は、保護主義的な貿易姿勢を強めており、貿易戦争が激化するリスクが指摘されています。国において米国との交渉を有利なものとするともに、影響を受けた会社へしっかりとその対応をするよう要望します。

生産性向上支援の具体策を早期に示していただきたいと思えます。

国内ではコメの価格の高騰が続き、日本のコメ政策にも影響する根本的な課題であります。

コメ以外の物価上昇も続いており、村では地方創生臨時交付金の100%補助を財源として、より多くの村民の皆さんに効果的な地域消費券を、商工会より発行することといたしました。

青木村でも農家の少子高齢化に伴う後継者不足など農業者の減少から、耕作放棄地も目立っています。国により、稲作経営の安定化を含め米政策の再構築及び、令和9年度以降の作物毎の

「あおきネットワーク整備事業」について、4月1日より青木村に特化した専門チャンネル「あおきチャンネル」の放送が始まりました。あおき電話（新情報電話）の宅内設備更新工事

も、この6月からスタートいたしました。外出先でも、青木村の情報を受け取ることができるようスマートフォンアプリ「あおきナビ」についても、予定を前倒しして、この10月からサービスの提供を始める予定であります。「あおきチャンネル」、「あおき電話」、「あおきナビ」の3点セットで、しっかりと大切な情報をお届けできるように、整備を進めてまいります。

5月23日(金)、上田広域連合議会臨時会が開催されました。資源循環型施設建設事業は環境影響評価が完了し、広域連合として清浄園用地を施設の建設地として決定し、資源循環型

施設対策連絡会の皆様と基本協定を締結する運びとなりました。

松くい虫の拡大を防ぐため、国及び県の補助金、森林環境譲与税を活用して、森林施業者と連携しながら、被害を受けたすべてのアカマツの木に対し、全量伐倒燻蒸処理を行っております。

今年度は、特に被害が目立つ当郷塩之入地区で、6・75haの樹種転換事業を実施中です。ドローンを活用した山奥での被害木を調査する事業も試行しております。

令和6年度一般会計は、5月までの出納整理期間が終わりました。歳入の村税については、当初予算に対し、1億3889万円、26%増の6億6353万円となりました。企業誘致前の令和4年度決算額と比べると、村民税で1億3300万円の増、固定資産税で1億900万円の増、合計で2億4000万円の増となりました。

例年同様に翌年度への繰越額を確保し、また一旦は取り崩した財



小学校運動会 5・6年生組体操

政調整基金は同額の積戻しを行い、更に、財政調整基金へ6000万円、公共施設整備基金へ1億円、情報通信関連事業基金へ4000万円、その他基金へも積立てを行うことができました。

令和7年度6月補正予算における一般会計は、歳入歳出それぞれ4292万3千円を追加し、総額を33億292万3千円とします。歳入において商工費県補助金が、県地域発元気づくり支援金によるそば殻グッズ作成や昆虫資料館イベントにより540万円の増、総務費国庫補助金がマイナンバーシステム整備費補助などにより529万円の増となりました。

報告

報告第1号

専決処分の承認を求めることについて

一般職の職員の給与に関する条例、青木村税条例、国民健康保険税条例の一部改正、令和6年度補正予算5件です。

補正予算のうち、令和6年度一般会計補正予算第7号は、歳入歳出それぞれ2億6403万6千円を追加し、総額を47億6702万円とするもので、歳入では村税（村民税、固定資産税）1億100万円の増、普通交付税2億2521万8千円の増、重点支援地方交付金1217万9千円の増、松くい虫関連事業補助金1345万6千円の減が主なものです。歳出では、財政調整基金積立金2億6000万円の増、公共施設整備基金積立金1億円の増、情報通信施設等整備基金積立金1000万円の増が主なものです。

また、令和7年度一般会計補正予算第1号は、歳入歳出それぞれ4292万3千円を追加し、総額を33億292万3千円とするもので、地域おこし協力隊費、

プレミアム商品券事業、コロナワクチン接種委託事業、県地域発元気づくり支援金事業、急傾斜地崩落対策事業負担金（沓掛区湯原地区）等を行うものです。

令和6年度特別会計（国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、特定環境保全公共下水道）に関する専決処分は、主には事業実績等による係数の整理に伴う補正でした。

報告第2号

令和5年度青木村土地開発公社事業報告について

令和6年度の事業及び収入支出決算等について報告がありました。

報告第3号

令和6年度繰越明許費繰越計算書の報告について（青木村一般会計）

情報通信ネットワーク等高機能化促進事業、新しい地方経済・生活環境創生交付金事業、長野県生活困窮者価格高騰特別対策事業、地方創生臨時交付金低所得世帯支援事業、健康管理システム改修事業、村道湯の入線舗装改修工事、国道143号歩道整備に係る物件移設工事の

令和7年度に繰越した事業費及び財源の計算書で、議会の承認を求めるものです。令和7年度への繰越額は9億2206万6千円です。

報告第4号

令和6年度青木村簡易水道事業会計予算の繰越について

送水ポンプ更新工事の令和7年度に繰越した事業費及び財源の計算書で、議会の承認を求めるものです。令和7年度への繰越額は3000万円です。

議案

議案第1号

令和7年度青木村一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ4292万3千円を追加し総額を33億292万3千円とするものです。歳入では社会保障・番号制度システム整備費補助金279万1千円の増、県地域発元気づくり支援金540万円の増、情報通信関連事業基金250万円の増、自治総合センター助成金350万円の増が主なもので、歳出では地域おこし協力隊1名分610万8千円の増、プレミアム商品券

事業10%分750万円の増、コロナワクチン接種委託料416万1千円の増、タチアカネそば殻再利用グッズ作成303万円の増、昆虫を通じて環境保全の心を育む事業405万7千円の増などが主なものです。

議案第2号

令和7年度青木村国民健康保険特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ6万2千円を追加し総額を5億998万円とするもので、電算システムの委託を行うものです。

議案第3号

令和7年度青木村立青木小・中学校学習者用端末等の購入について

本事業の請負契約（144万4千760円）を締結するため、地方自治法の規定によって議会の議決を求めらるるものです。

陳情

陳情第1号

高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情について

今後も高額療養費制度に

おける高額療養費の自己負担額の自己負担上限額の引き上げをしないことを求めるものです。

賛成討論

塩澤 敏樹 議員
坂井 弘 議員

陳情第2号

青木村議会の信頼と説明責任に関する陳情書について

一部報道の件について、議会声明と当該議員の説明を村民へ行ない、議員の倫理の審査検証と関係する制度整備を行うことを求めるものです。

発議

発議第1号

米政策を抜本的に転換し米を安定供給することを求める意見書について

これまでの米の減反・減産政策を転換し増産に切り替え、食料自給率の改善と米の需給をコントロールする仕組みを政府の責任で整備することを求めるものです。

賛成討論

塩澤 敏樹 議員
宮入 典子 議員

議案の議決結果

○賛成 ●反対 ▲一部趣旨採択

議案	小林	松澤	北澤	宮澤	宮入	松本	塩澤	平林	坂井	金井	結果
報告第1号 専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	承認(全員一致)
報告第2号 令和6年度 青木村土地開発公社事業報告について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	承認(全員一致)
報告第3号 令和6年度 繰越明許費繰越計算書の報告について(青木村一般会計)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	承認(全員一致)
報告第4号 令和6年度 青木村簡易水道事業会計予算の繰越について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	承認(全員一致)
議案第1号 令和7年度 青木村一般会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決(全員一致)
議案第2号 令和7年度 青木村国民健康保険特別会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決(全員一致)
議案第3号 令和7年度 青木村立青木小・中学校学習者用端末等の購入について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決(全員一致)
陳情第1号 高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	採択(全員一致)
陳情第2号 青木村議会の信頼と説明責任に関する陳情書について	▲	▲	▲	▲	—	▲	▲	—	▲	▲	一部趣旨採択(全員一致)
発議第1号 米政策を抜本的に転換し米を安定供給することを求める意見書(案)について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決(全員一致)

※議長は採決に加わりません。

常任委員会報告

令和7年第2回青木村議会定例会で、総務建設産業委員会に付託された案件について委員会審議が行なわれました。
審議内容は次の通りです。

総務建設産業委員会

委員長 松本 淳英

陳情第2号 青木村議会の信頼と説明責任に 関する陳情書について

審議では、要望1は議会、本人に説明を問う内容である一方、要望2・3は、倫理に関する仕組み、政治倫理条例の制度に関する内容であり、内容が異なるとして、1及び2・3の2つに分けて審議する動議が出

されました。動議は成立し賛成されたことから、それぞれ別に質疑・討論・採決を行いました。

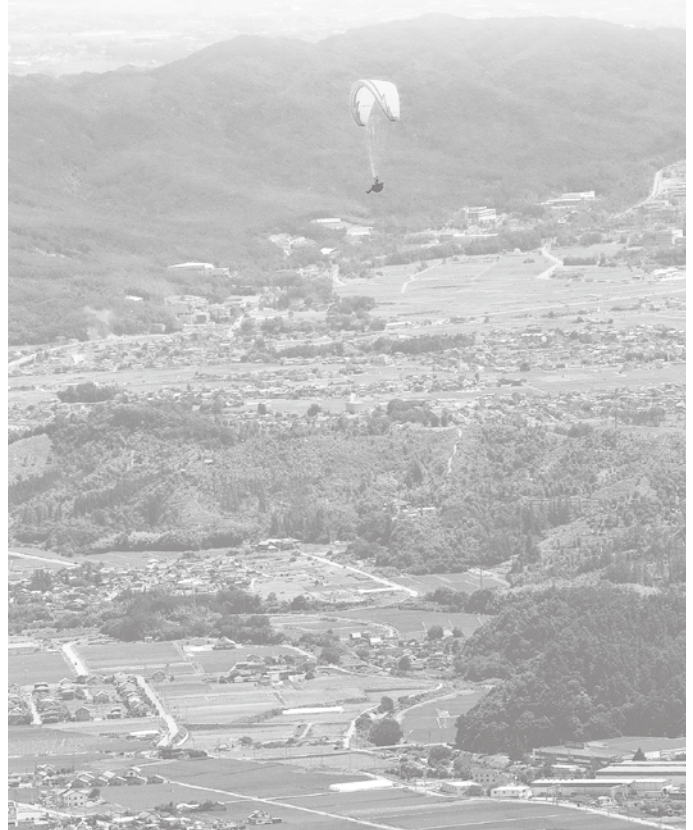
要望事項1では当該議員が4月20日時点では議員資格を有していたかとの質問があり、議員の任期は5月7日からになり、議員ではないという回答がありました。討論では賛成討論なく、反対討論として、「警察に情報提供がなされ全ての疑義や違法

可否は当局の手中にある。今は事実が不明、不確定な状況であり、議会としてすべきことはない。事実確認や説明責任の義務は当該議員にあり、しかるべき時期に当該議員の責任において事実関係を含めて説明がなされ、村民からの回復を図るべきである、また、議会としては情報を有していないので開示はできない」などの反対討論がありました。採決では賛成者なく、要望事項1は不採択となりました。

要望事項2・3は、質疑、討論では反対討論、賛成討論ともありませんでした。採択において、「陳情2にある議員の倫理に関する審査・検証、陳情3にある再発防止ルールについて、現状の議会基本条例では不足している。議会基本条例に織り込む、または政治倫理条例の創設を、全国や県内での先進条例を研究し検討するべきであり、趣旨採択とすべき」との意見が出されました。趣旨採択の採決を取ることの賛同を得て採決を行った結果、全員賛成

にて要望事項2・3については趣旨採択となりました。

以上、陳情第2号「青木村議会の信頼と説明責任に関する陳情書について」、一部趣旨採択とすることに全員賛成にて決定しました。



トンネル開通を見据えた村づくり



松本 淳英 議員



大きな転換期を迎える
米政策



2027年までに蛍光灯の
生産終了
LED化を

1. 村政全般について

1 村政全般について

問 第6次青木村長期振興計画について、前期基本計画の重点プロジェクトの総括と後期基本計画の予定は。

村長答弁

コロナ対応や災害備蓄の強化、国道143新トンネルの用地買収促進、竹内製作所の操業開始、補聴器への助成、小中学校での手厚い教員配置、五島慶太翁顕彰事業など、それぞれの重点プロジェクトで一定の成果があった。

トンネル開通が見えてきたことから、後期基本計画を10ヵ年として、健康、福祉、産業、教育、安全安心、環境、自治など、村民や議会の皆様の参画のもと、新重点プロジェクトを計画していきたい。

問 国道143新トンネルの開通を見据えた沿線の景観整備の見通しは。

建設農林課長答弁

平成31年に制定した青木村美しい村づくり条例で定めている5つのエリア区分の特徴を踏まえ、地域の魅力向上、環境の保全、観光振興につながるよう努めていきたい。

問 生産者や耕地の制約、ブロックローテーションなどを踏まえたうえで、当村におけるコメの機動的な増産余地はどの程度あるか。即効性のある増産政策は。

建設農林課長答弁

昨年度行ったアンケートでは、今後規模拡大を希望する生産者は全体として1.4haの増産を希望しており、休耕地も30haある。水利関係や機械耕作の条件を見極め、水田の集積をすすめるとともに、休耕中の農家による生産の開始も促したい。

問 道の駅あおきでのインターネット販売について、今後の事業展開は。

商工観光移住課長答弁

品目の確保や送料の高騰、職員配置など課題はあるが、青木村産のお米やリンゴ、ブドウなど、取扱い品目を広め、魅力的なネットストアを目指したい。

問 情報通信ネットワークの更新に伴う起債により、当村の地方債発行残高が増加する。長野県町村平均程度の発行残高になるが、今後の財政政策は。

総務企画課長答弁

第7次青木村長期振興計画の策定に向けて、持続可能な財政運営が確保できるよう安定した財源の確保、歳出項目の見直しといった歳出削減努力に、引き続き取り組む。

問 当村の英語教育強化のため、英検受験料への補助、海外とのオンライン交流の開始などに取り組んできたが、今後の更なる強化の見通しは。

教育長答弁

人生を生き抜くツールとして英語があり、やりたいことをはっきり持つ子どもを育てることが重要。

問 暑さが厳しい7月は、小学校登下校におけるバス利用の規定を緩和することは。

教育長答弁

4km以内の生徒でも登下校が心配な方はバス利用をするように保護者に伝える。

問 2027年までに蛍光灯の生産が終了する。公共施設、公民館、電灯におけるLED化の見通しとLED化支援策は。

総務企画課長答弁

役場庁舎や老人センター等で未対応な部分があり、優先順位をつけて進めていきたい。各公民館のLED化への補助はない。一括発注も種類や実施年度の違いから難しい。

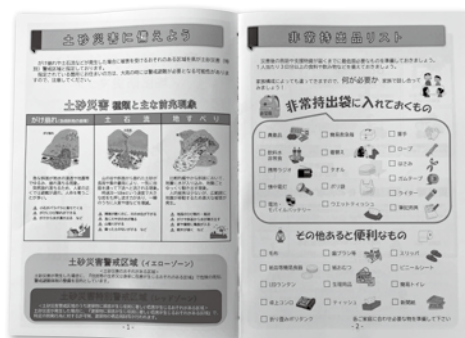
7

災害時の村の対応は



松澤 広海 議員

1. 南海トラフ地震の被害対応について
2. 松くい虫対策について



地区防災マップより



村松区松くい虫

1 南海トラフ地震時の被害対応について

問 災害時の避難も短期ではなく、長期の避難も想定される。村として事前の啓発・災害時直後・生活復帰までの長期の対応についてどう考えるか。

村長答弁

災害時、村の対応、準備品などについて、村では毎年計画的に購入をし、配布をしている。今年度も消防費の災害対策費の中で111万8千円を計上して、主食、汁物、飲料水などを購入する予定。

国の補助事業である地方創生臨時交付金を使い、災害時の避難所設営に向けた必要な備品等の購入を今、計画している。

具体的には、防災、衛生備品として緊急用の浄水器、炊き出し用の炊飯セット、移動式煮炊き窯、簡易トイレ・テントセット、避難所用の間仕切りテントセット、折りたたみベッド、要介護者用ベッド、発電機、蓄電池・パネルセット、投光器、防災備蓄倉庫を5基買い備蓄をする。

置く場所は、広域避難施設の文化会館の敷地内、旧授産所の敷地内に、この備蓄を災害時に備えてさらに充実する予定。

会計管理者兼財務会計課長兼防災危機管理監答弁

各避難所の準備、備えの状況は、現在、村の指定避難場所は、各公民館など16か所を指定している。また、広域避難施設が11か所、福祉避難所が1か所という状況。

公民館等避難所の準備品、備蓄品については、一定量は各地区へ配分し、多くは役場周辺に集積して、必要に応じて提供していく。

避難生活が数か月単位で長期化した場合には、国や他県からの支援、村で防災協定を締結している市町

村とか企業、事業者などに連携協力を求め、支援を受けながら対応していきたい。村の職員数も限られているので、村民の皆様には共助と自助をお願いしたい。

2 松くい虫対策について

問 松くい虫の対策の現状とこれからの方針について
建設農林課長答弁

松くい虫による被害は令和5年度から激増している状況だ。村として現在行っている対策は、国・県の補助金、森林環境譲与税を活用。1点目、全量伐倒燻蒸処理による駆除を行っている。

2点目、予防策として、樹幹注入（国宝大法寺周辺）

3点目、拡大防止対策として樹種転換を行っている。当郷地区の塩之入地籍、面積で約27haを2つの工区に分けて実施している。

今後の方針は、引き続き国や県、森林環境譲与税などの財源の確保を図りながら、松くい虫対策をしっかり実施して、山林を守っていく。

タチアカネそばで地域振興を



塩澤 敏樹 議員

1. 村長四期目の村政について
2. 新規事業について
3. そばの生産振興について



貸し出しが始まったeバイク



収量確保に向けそばの二期作

1 人口減収対策について

問 現状の課題と今後の対応について。

村長答弁

青木村の人口は、国の人口問題研究所が長期的に推定したよりは下がり具合がゆるやかなのが実態である。

今までの事業を充実させていくのもう一つは、雇用、働く場所の確保、それから村営住宅の改修などを含めた住宅の確保、買物あるいは子育てしやすい環境づくり、トータルとして若い女性の皆さんに選んでいただける村づくりというふうなことが大事ではないかと思っている。

2 新規事業について

問 あおきカフェの参加の様子や課題、今後の運営について。

住民福祉課長答弁

第1回目をこの4月30日に57名、第2回目を5月30日に45名の方に参加していただき、開催することができた。

皆さん、毎月楽しみにしている、何年かぶりにお会いした方と話ができて大変よかった等の御意見をいただいた。

問 eバイクの保管場所について。

商工観光移住課長答弁

eバイクの保管場所は、道の駅あおき内のぷらっと家（ホーム）に保管、展示をしている。防犯面を考慮し、現状では最適と考える。

3 そばの生産振興について

問 県の「信州『そば県』推進協議会」の立ち上げや県市町村議員による「長野県をそば県にする議員の会」などの活動をどのように受け止めているか。

建設農林課長答弁

県や関係する皆さんと連携しながら、信州そばの生

産安定や品質向上、それからおもてなしや発信力の強化等により、そば県の知名度を高めていただくことを期待する。村としては、引き続き特産そばタチアカネの魅力を最大限に生かした村づくりに取り組んでいきたい。

問 そばの栽培を、牧場や山間地の水田、山間の荒廃農地などに限定し、安定した収穫量の確保について。

建設農林課長答弁

畑地が11ha、プラスして水田のそば定着田、通年でそばを作付されている水田が約30ha、これを足すと41haだが生産量が需要量の約半分しか確保できない。引き続き水田にも作付をして、需要に対応した供給を図っていきたい。

問 道の駅周辺の水田所有者さんに御理解と御協力いただき、代替地を提供するなどして、道の駅周辺をタチアカネそばの畑にすることについて。

建設農林課長答弁

道の駅あおきの来訪者が見やすい場所に、タチアカネのそば畑を設置するという発想は非常に重要であると考え。地権者の御理解と御協力が前提、加えてブロックローテーションの実施地区との調整が必要のため、最終的には農業再生協議会での御了解をいただいた上で、栽培を行っていただいている法人、担い手農家の方と規模や畑地化などの調整等を進めたいと思っている。

問 タチアカネそばを使用したそば専門のレストランの誘致、道の駅でそばレストランの経営について。

商工観光移住課長答弁

そばをはじめ、飲食店の創業、起業は観光面からも魅力的なことで、商工会経営指導員とも開業支援に連携を図っていきたい。

9

消防団活動と地域防災活動の推進



宮澤 政美知 議員

1. 消防団活動の現状と課題について
2. 中学校部活動の地域移行について



好成績のポンプ操作
上小地区大会



地域移行していく
中学校の部活動

1 消防団活動の現状と課題について

問 現状と期待するものは。

村長答弁

若い人の人口そのものが減っており、分団を12から4に、4から2分団に組織をスリム化するなど、時代に合わせた体制を構築して機構改革なども行っている。地域の防災訓練への積極的な参加や訓練、指導など防災における地域のリーダーの育成も期待している。

問 消防団の現在の組織編成と団員数、年齢構成は。

総務企画課長答弁

団員は2分団と本部班、機能別消防団に属し、基本団員が100名、協力員123名、合計223名が所属をしている。年齢分布は、20代が16名で全体の7.2%、30代が55名で全体の24.7%、40代が102名で全体の45.7%、50歳以上が50名で全体の22.4%。

問 村内企業との協力と連携の現状は。

総務企画課長答弁

村内で3企業に御理解をいただき、計10名が機能別消防団員として活動をしている。1つの企業では、操業している地元の区限定で、火災等有事の際に、自主的に消火活動をしている。

問 今後の活動の見通しは。

総務企画課長答弁

年4回から5回程度の機構改革会議を開き、話し合いを行っている。

問 団員への報酬や手当の見直しについて。

総務企画課長答弁

令和4年度から団員報酬及び出勤報酬について、国の基準に沿って見直しを行っている。

問 地区防災委員について。

総務企画課長答弁

青木区では、地区防災委員を立ち上げ活動している。有事の際に、動ける人材を消防団員以外で確保しなければならないと考える。

2 中学校部活動地域移行について

問 部活動の現状は。

教育長答弁

部活動は、男女のバレーボール部と吹奏楽部で、野球部と女子バスケット部、剣道部は、現在休部の状態。人数は、男子バレーボール部7名、女子バレーボール部8名、吹奏楽部14名という状況である。

問 移行による利点と課題について。

教育長答弁

高いレベルの環境で練習ができることが利点。一方で、身近に様々なクラブチームがあるわけではなく、地域により状況が異なっている事が最も大きな課題と考える。

問 村の取り組みの現状は。

教育長答弁

バレーボール地域クラブを創設した。令和7年度は、男女バレーボール部の共通の練習日を設け、外部指導者が参加して練習を行っている。

問 生徒や保護者への説明は。

教育長答弁

6年生や保護者へは、中学校の校長先生が行っている。小・中学校のPTA総会では私が説明した。

問 今後の方向性と見通しは。

教育長答弁

少子化によって部活動の存続が難しくなっている状況を踏まえ、青木村ならではの方向も探りながら、スポーツや文化に親しむ環境をつくっていききたい。ゆる部活動としてのヒップホップダンス部は、青木村としての独自色を出したものである。

米不足の今、減反見直し増産へ



坂井 弘 議員

1. 北村村政4期目の重点施策(住民福祉・教育・農業政策)
2. 戦後80年にあたっての平和を守る取組み
3. 村内にある文化財の維持・管理・保存・活用

1 転作ローテーション見直しを

問 4期目の重点施策として、キラリと光るものは何か。

村長答弁

凡事徹底に努める。国道143青木峠バイパス開通を見据え、その活用を考える。人に優しい行政に、更に努める。

問 小・中学校全学年2クラス化の見通しは。

村長答弁

来年の新一年生は36名。旗をしっかりと掲げ実現したい。

問 竹内製作所の村内就労者数は。

村長答弁

会社が公表していない。数十名ぐらいと思う。

問 小2の2学級対応継続は。

村長答弁

村費講師が見つければ対応したい。

問 米不足の状況に対する見解・対応は。

村長答弁

安定供給を図るために需要バランスを予測し、国が農業施策を早急に示してほしい。

問 東御市・長和町は、主食用米の作付面積が生産数量目安値を越えている。青木村もこれに倣えば、ブロックローテーションは止められる。

建設農林課長答弁

大規模農家の労働力・効率の面で一概に増産はできない。

問 家族経営の農業者がいることも十分配慮されたい。

2 戦後80年、平和を守る取組を

問 戦後80年に当たっての平和に寄せる村長の思いは。

主食用米の作付状況

	令和4年度			令和5年度		
	生産数量目安値 (ha)	作付予定面積 (ha)	目安値に対する作付率	生産数量目安値 (ha)	作付面積 (ha)	目安値に対する作付率
上田市協議会	1,545	1,502	97%	1,508	1,488	99%
東御市協議会	621	707	114%	607	690	114%
長和町協議会	215	215	100%	210	218	104%
青木村協議会	105	90	86%	103	73	71%

水田の転作ブロックローテーションを止め、減反から増産へ
青木村の主食用米の作付面積は、もっと増やせる



屋根の葺き替え時期を迎える
県宝日吉神社本殿

村長答弁

平和について考えるいい時期、チャンスだ。

問 今年、平和を守る取組を村として行う予定はないか。

村長答弁

終戦記念日に、あおきチャンネルで「平和・戦後80年」をキーワードにした番組を放送したい。

問 自衛官募集のための適齢者名簿閲覧について当事者の意思確認をすべきではないか。

総務企画課長答弁

他市町村の取組を踏まえ、今後の検討課題とする。

3 文化財修繕費用の確保を

問 青木村の文化財保存活用地域計画は作成されているか。

教育長答弁

計画策定に係るマンパワーが十分でなく、作成できない。

問 文化財の維持管理・修繕費用の負担割合は。

教育長答弁

国指定については国が1/2。県指定は事業規模に応じ2/3・1/2・1/3となっており、村としての規定は定まっていない。

問 屋根の葺き替え時期を控えた県宝日吉神社の費用見積りはどのくらいか。

教育長答弁

2000万円弱程度かかる。

問 県や村の負担率を引き上げることは可能か。

教育長答弁

県は難しい。村は地元区との相談による。

生活しやすく 魅力ある青木村に



北澤 久美子 議員

1. 生活しやすい青木村にするためのスーパーの必要性について
2. 子育て環境のさらなる充実対策について

1 生活しやすい青木村にするための、スーパーの必要性について

問 道の駅直売所に肉魚等の生鮮食品を置き、スーパーの機能を持たせられないか。

商工観光移住課長答弁

現在、冷凍加工肉は販売しているが、精肉・鮮魚の取扱いはしてない。鮮魚の販売の許可はあるが、調理室の設備的な課題から常設販売をしていない。一方で、姉妹都市が来た時のイベントでは、販売している。常設的な販売について、道の駅と協議し、計画をしている。

問 既存のコンビニに鮮魚を置いていただき、利便性を持たせられないか。

商工観光移住課長答弁

村内にはコンビニが2店舗あり、村民の生活にもすっかり定着してる。道の駅同様に、保健所の営業許可が必要なこと、廃棄ロスなどの経営リスクもあり、今後、経営者に研究をお願いしていく。

問 トンネル開通を見据えて、スーパー誘致を図ってはどうか。

村長答弁

国道143号線バイパストンネルの開通には、青木村の画期的な変化を期待している。村民の皆さんからも、スーパーの誘致の要望を、伺っている。今年度以降、十ヵ年長期振興計画の策定を予定しており、この中で御議論いただきたいと思います。

竹内製作所の誘致以来、村への興味と期待を頂き、色々なところから照会がある。スーパーの誘致等についても、可能性があると思っている。

しかし、道の駅農産物直売所・Aコープといった既存の商店も大事にし、共存していかなければならない。



茅野市こども館 0123広場
(提供:茅野市)



村外の方からも人気な村営プール(提供:青木村)

トンネル開通の効果が出るような。魅力あるまちづくり、村づくりをしていきたい。

2 子育て環境のさらなる充実策について

問 雨天時や夏の暑い日でも使える、全天候型室内子ども広場の設置ができないか。

教育委員長答弁

子育て環境を整えることは、重要なことだと思っている。今年から児童センターが、平日午前中から指導員2名体制をとった。センターの乳幼児室にはいつでも遊びに来られるようになった。遊具や小さな体育館もあり、暑くても寒くても走り回って遊ぶことができる。指導員常駐のため、安心して遊ぶことができる。この制度を知っていただくため「わくわく広場」を再開する。多くの方に遊びに来ていただき、保護者同士の仲間づくりもしていただきたい。

夏休み中も乳幼児室はいつでも使える。現在土日利用の早急の実現は難しいが、まずは、既存の児童センター乳幼児室を平日に使っていただき、利用実績を積み上げていただきたい。

問 村営プール更衣室の床が汚く、車中で着替えている子がいると聞いている。更衣室の床の改修ができないか。

教育長答弁

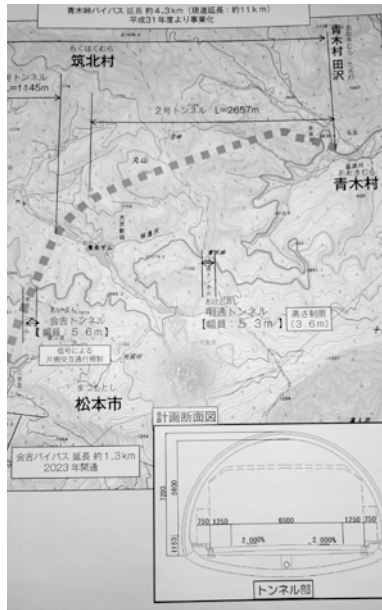
村営プールは、維持管理にお金がかかるともかかる。昨年は、管理棟の屋根の改修工事に510万円・プール塗装工事に22万円がかかっている。更衣室の床には、確かに塗装が剥がれている箇所がある。現在、業者と再塗装の相談をしている。中学校の授業開始等の日程が合えば、今年度中に、塗装したいと考えている。

青木峠バイパス工事 早期着工へ



小林 久美子 議員

1. 青木村R143のトンネル開通について
2. 法定外公共物について



青木峠バイパス工事早期着工を



細谷の福寿草群生

1 青木村R143のトンネル開通について

問 国道143号青木峠バイパス着工まで後少しの所まで来ている。以前阿部県知事からも前向きな答弁を頂き青木村の半世紀以上の希望が見えた気がした。松本までの距離が近くなる事は医療、経済、文化、人の交流が増え青木村にも魅力を作り出すチャンスになる。しかし気持ちとは裏腹に青木側の工事の着工がなかなか進まない。先日現場を見に行ったら、粗土が掘り起こされていた。しかしトンネルに続く道路工事だった。トンネル工事の着工は確認できなかった。現状の工事の進捗状況がどこまで行っているのかまた青木側の工事がなかなか進まない具体的な理由は何なのか。

- ① 村民のおよそ何%がトンネルの開通を望んでいるか。
- ② 青木村側の工事がなかなか進まないのは入り口の地権者の問題があるのか。
- ③ 地権者の方は何を望んでいるか。
- ④ 工事は着手後どの位の期間で完成するか。

村長答弁

この国道は、明治の時代に長野県上田地域と松本、安曇野地域を結ぶ重要な役割を担ってきた幹線道路である。掛かる費用は他の事例を見るとおおむね150億円、バイパスの延長は約4,300m、トンネルの全幅の幅員は10.5m。

- ① この長期振興計画を作る際に75%以上の方が早期の開通を望んでいた。
- ② 地権者の物件補償用地交渉については9名。
- ③ 公共事業に必要な土地物件は地権者に県の定めた基準により対価で補償する。人によっては用地買収補償に直接関係ない御要望もある。出来る事出

来ない事がある。

- ④ 上田側が2号トンネルで2,650m 1号トンネル松本側1,150mの施工をする。過去の事例を見ても3年あるいは3年半位で掘る計算上になる。土質の影響により予定と変わる可能性等ある。青木・上田・安曇野・松本・筑北の皆さんは一日も早い完成を願っている。ご要望に沿えるよう最善を尽くしてまいります。

2 法定外公共物について

問 里の道(赤線)や水路(青線)の管理について。

「赤線の石垣が崩れた時、村か地区のどこで修繕するのかまた費用は何処からか」聞かれた。青木村にはとても素晴らしい景色や美しい花々、手入れのされたあぜ道等があり青木村お散歩マップがあると良いと考える。「里の道」と言う素敵な響きを持った言葉を利用してマップを作りたい。また法的公共物の基本概念があると青木村のためにも役立つのではないかと考える。

建設農林課長答弁

従来からの慣習として、地区の皆さんによる維持補修や清掃等が行われてる。人が一人程度しか通行できない道から災害時の避難道路として重要な役割を担っている道路と、多岐にわたっている。規模が小さい赤線等の修繕は現在村の材料支給事業等を活用して地区の皆さんが整備を行っている。規模の大きい整備を行う際には地区の要望を受けて村が実施を行う。今後は地域の負担軽減を十分に図りつつ予算の中で適正な管理の上公共性の高い法定外公共物については地区の要望事項として上げて頂きたい。



令和7年度 町村議会 議長・副議長研修会

5月27日、東京国際フォーラムで全国市町村議会議長・副議長研修会が行われ正副議長で参加してきました。研修内容は、

- 1、広域災害対応を含めた自治体の災害対応強化に不可欠な「防災DX」

講師 内閣府政策統括官(防災担当) 高橋 謙司氏

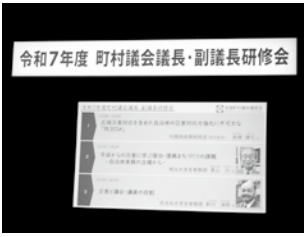
- 2、平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題

講師 明治大学名誉教授 青山 やすし氏

- 3、災害と議会・議員の役割

講師 同志社大学名誉教授 新川 達郎氏

今回の講演をお聞きし、議会としても災害対応に、普段から備えていかなければいけないと強く感じました。



議会・議員の防災、救援復旧対策においては、災害の予防から復旧までのプロセスで考える必要があり、普段の活動、被災時の活動、復興時の活動をそれぞれ整理しておくことが大事だと思っていました。これからも、議会として事前の活動としては、防災意識の啓発、防災訓練への参加を行うとともに、災害時の議会の対応として「議会災害対応マニュアル」の検討をしていきたいと考えています。(塩澤 敏樹)

令和7年5月上田地域 広域連合議会臨時会

去る5月23日に上田地域広域連合議会臨時会が開催されました。広域連合長あいさつで、資源循環型施設建設について、6月6日に資源循環型施設建設対策連絡会と「資源循環型施設の建設地決定に関する基本協定」を締結する運びとなったことの報告があり、地域医療対策については、上小医療圏の慢性的な医療従事者不足等で厳しい状況の中、不足を補う救急医療体制として「上田スタイル」の取組み中であることの報告がありました。広域消防について、2月28日上田市武石地域の大規模山林火災では自衛隊始め、富山県、

岐阜県、静岡県消防防災航空隊等の応援を受け3日間の消火活動の末、鎮火に至り、各機関の応援、団員の消火活動、地域住民のご協力に感謝を述べました。大規模災害時の早期広域応援の体制を整える為、今年4月から「消防庁映像共有システム」の運用を開始し、関係市町村の消防団からの情報も共有できるよう調整を進めています。火災予防では、火災件数は4月末で36件、前年同期比20件増。火災原因は屋外火気使用に伴うものが15件発生し前年同期比10件増、屋外焼却実施者に対する指導に努めています。

救急業務では救急車の出動件数が、過去最多の昨年を4月末で103件上回る状況を報告。今年度から試行的に日勤救急隊を配備し、平日昼間に多い病院間搬送に出勤しているとしました。人事案件2件を承認しました。

- ①4月の青木村村長選挙・村議会議員選挙の結果から、副広域連合長に北村政夫青木村長の選任に同意しました。
- ②公平委員会委員に、元東御市職員で東御記念センターラクルニック事務長の横関政史氏の選任に同意しました。

①上田南部消防署の高規格救急契約関係2件を可決。

自動車1台の計画的な更新整備で、車両の安全、機能、性能の向上と、高度救命処置用資機材を更新するもの。長野トヨタ自動車(株)法人営業部と3792万円契約しました。

- ②消防で指令制御装置や統合型位置情報通知装置、出動車両運用管理装置、映像119通報受信装置、8消防署の端末など、既存の「高機能消防指令装置」を更新するための整備工事。日本電気(株)首都圏支社と6億1435万円契約しました。

ほか専決を行った一般会計補正予算を承認しました。(平林 幸一)

青木村及び上田市共有 財産組合議会臨時会

令和7年第1回臨時会が、5月23日に開催されました。青木村議会からの選出議員の改選によるもので、審議された案件は、

- 一、議長の選任
- 二、監査委員の選任

の2件でした。議長には坂井弘議員、監査委員には塩澤敏樹議員が選任されました。なお、青木村議会からは他に小林久美子議員、松澤広海議員が選任されています。

議題の他に、事務局から森林の維持管理サイクルや作業手順、令和7年度事業計画について説明がありました。

議会後、共有財産組合議会議員全員で、筑北村の松くい虫被害状況を視察しました。(坂井 弘)



松くい虫被害状況の視察

令和7年度長野県町村 議会議長会臨時総会

6月4日に長野市の県自治会館に於いて、長野県町村議会議長会臨時総会が開催されました。会議では正・副会長、監事の選挙が行われ、会長に大滝村議会上出議長、副会長に栄村議会上倉議長、監事に平谷村議会宮澤議長、南相木村議会の依田議長が就任しました。東信地区理事は長和町議会の森田議長が理事として選出されました。

令和7年度事業計画、令和7年度一般会計予算のすべて、全会一致で可決されました。(平林 幸一)

住民の 声

小学校校長 御手洗 博一 先生

昨年度より青木小学校でお世話になっています。学校近くの住宅をお借りし、青木での生活も二年目を迎えました。窓を開けると夫神岳がそびえ、キジやウグイスの美しい鳴き声も聞こえてきます。青木の景色を眺める、ただそれだけで心が癒されます。

住宅の向かいには、タチアカネソバの普及活動に努める農業のプロの方がいます。その方から今年、「先生、うちの畑を貸すから、何か育てなあ」と誘われ、数種類の夏野菜を育てています。週末畑作業をしていると、その方が様子を見に来て、「暑いから、ちょっと休みましょう。まあ、食べて」とアイスクリームをいただく場面がありました。畑を貸してくださる優しさ、作業をしている時に気を使ってくださる温かさなど、野菜を収穫する前から、地域の方の優しさと温かさを味わうことができます。

学校活動に関しても同じことが言えます。今年度小学校では、「夢の種まき お仕事ゼミ」と題して、青木で働く方を招いて、働くことのすばらしさを体験する企画を考え、地域に発信し公募をしました。そうしたところ20近くの事業所の方が手を挙げてくださいま



した。子どもたちの未来のために一肌脱いでくださる方の多さに感動すると共に、「地域の誇りとなる学校をつくらねば」と、身の引き締まる思いにもなりました。

青木村の教育の柱には、「青木の子は青木で育てる」の合言葉があることを教わりました。地域と繋がり、地域を感じ、地域に学ぶことが、地域への愛着と誇りを生み出すと考えています。そして、そういった学びが、10年後、20年後の青木村を支える人づくりにも繋がっていると信じています。

自分自身はもちろん、全校が、全職員が、もっともっと地域と繋がり、『あおきならでは』の、『今年ならでは』の学びをつくっていきたいと思っています。

青木村議会日誌

編集後記

新メンバーによる議会がスタートをきりました。強い思いのもと、力が入った一般質問や、常任委員会等での審議が行われました。青木村でも少子高齢化や財政面等厳しい状況ではありますが、改善する点の見直しのみではなく、成果が出ている事柄などのプラス面にも目を向け、議会と行政が両輪となり施策に磨きをかけていくことも大切だと思います。私たちは、議会の状況をわかりやすくお伝えしていけるように努めるとともに、議会報告会で意見交換を行い、村政に生かせるようにと議論を進めていますので、これからもよろしくお願いたします。(S・T)



5月

- 7日 / 臨時議会
- 8日 / 上田地域広域連合議会代表者会 (議長)
- 12日 / 関係団体ご挨拶 (議長 副議長)
- 15日 / 青木村商工会総会 (議長)
- 21日 / 夏まつり実行委員会 (議長)
- 23日 / 上田地域広域連合議会臨時会 (議長)
- 23日 / 青木村及び上田市共有財産組合議会臨時会 (共有財産組合議会議員)
- 24日 / 上下小地区障がい者スポーツ大会 (議長)
- 27日 / 全国議長会議長・副議長研修会 (正副議長)
- 28日 / 例月監査 (監査委員)
- 29日 / 議会運営委員会 (議会運営委員)
- 29日 / 全員協議会
- 30日 / 初当選議員研修会
- 31日 / 小学校運動会 (正副議長、社会文教委員)

6月

- 1日 / 村民ゴルフ大会表彰式 (議長)
- 4日 / 県町村議会議長会臨時総会 (議長)
- 5日 / 議会開会
- 8日 / 青木村消防ポンプ操法大会並びにラップ吹奏大会 (正副議長、消防委員)
- 11日 / 議会一般質問
- 12日 / 総務建設産業委員会 (総務建設産業委員)
- 13日 / 議会審議採決
- 13日 / 議会報編集委員会 (議会報編集委員)
- 13日 / 全員協議会
- 15日 / 東京青木会総会 (議長)
- 20日 / 地域公共交通会議 (総務建設産業正副委員長)
- 21日 / 交通安全子供自転車上下小地区大会 (議長)
- 22日 / 上下小消防ポンプ操法大会並びにラップ吹奏大会 (正副議長、消防委員)
- 24日 / 上田諏訪連絡道路建設促進期成同盟会総会 (議長)
- 26日 / 例月監査 (監査委員)

7月

- 3日 / 国道143号整備促進期成同盟会 中央要望 (議長)
- 4日 / 議会報編集委員会 (議会報編集委員)
- 10日~11日 / 上田地域広域連合議会行政視察 (正副議長)
- 14日 / 議会報編集委員会 (議会報編集委員)
- 14日 / 県議長会議員研修会
- 17日 / 青木・麻績インター・新町間県道整備促進期成同盟会 総会 (議長、総務建設産業正副委員長)
- 19日 / 青木村女性団体連絡会・総会 (議長)
- 22日 / 丸子信州新線整備促進期成同盟会総会 (正副議長、総務建設産業委員)
- 22日 / 全員協議会
- 23日 / 上田地域広域連合議会管内視察 (正副議長)
- 29日 / 例月監査 (監査委員)

今後の予定

8月

- 18日~27日 / 決算審査 (監査委員)
- 22日 / 県町村監査委員協議会表彰式・研修会 (監査委員)
- 27日 / 議会運営委員会 (議会運営委員)
- 27日 / 青木・麻績インター・新町間県道整備促進期成同盟会 県要望 (議長)
- 27日 / 青木村及び上田市共有財産組合議会会計決算監査 (共有財産組合議会監査委員)
- 28日 / 決算審査講評・例月監査 (監査委員)

